

## 【アメリカ】トヨタ車の安全性に関する情報更新のための公聴会

海外立法情報課・高木 綾

\* 2010年5月20日、米下院エネルギー及び商務委員会の行政監視及び調査小委員会において、「突然の意図しない加速(SUA)の問題に対するトヨタ及び運輸省高速道路交通安全局(NHTSA)の対応に関する情報更新」と題する公聴会が開かれた。

### 開始演説

まず、ヘンリー・ワックスマン(Henry A. Waxman)委員長(民主党、カリフォルニア州)が、2010年2月23日に同小委員会において開かれた公聴会以降、トヨタがSUAの原因究明を目的とした電子システムの欠陥の可能性を前提とした実験を行っていないことが問題であると述べ、これについてトヨタ側が行っている2つの説明、すなわち①すでにコンサルタント会社であるエクスポネント社によって実験済みであること、②市販前実験は日本のトヨタ自動車により何年もなされてきたこと、を中心に検討していくとして、トヨタ側の提示する根拠に関する疑問点を列挙した。

続いて、バート・ステューパック(Bart Stupak)小委員長(民主党、ミシガン州)が、トヨタ自動車はSUAの原因について科学的調査を行うよりも広報に関心を示していることは残念であると述べ、PR会社に依頼した企業イメージ向上の成果を報告した。他方でトヨタ自動車の努力についても述べ、リコールが進展していることや、ブレーキ・オーバーライド技術を適用したことを評価した。NHTSAについては、トヨタ車の電子制御スロットル・システムに関して、航空宇宙局(NASA)及び全米科学アカデミー(NAS)にそれぞれ依頼した調査が進行中であることを紹介した。

### 証言1: デイヴィッド・ストリックランド(David L. Strickland)米運輸省高速道路交通安全局長

2月以来、日本で政府当局者やトヨタ自動車幹部との会談、3件の調査、トヨタ自動車への制裁金、NASA及びNASへの調査依頼など、NHTSAは積極的に活動してきた。

### 証言2: ジム・レンツ(James Lentz)北米トヨタ自動車販売社長

品質保証が最優先課題である。SUAの報告にも積極的に取り組み、最新の安全装置を装備している。電子制御スロットル・システムはSUAの原因ではない。迅速な対応によって、良質な顧客サービスのための新たな基準を設定する。

注(インターネット情報は2010年7月16日現在である。)

・Hearing on Update on Toyota and NHTSA's Response to the Problem of Sudden Unintended Acceleration Subcommittee on Oversight and Investigations, U.S. House Committee on Energy and Commerce, May 20, 2010.

<[http://energycommerce.house.gov/index.php?option=com\\_content&view=article&id=2006:hearing-on-update-on-toyota-and-nhtsas-response-to-the-problem-of-sudden-unintended-acceleration&catid=133:subcommittee-on-oversight-and-investigations&Itemid=73](http://energycommerce.house.gov/index.php?option=com_content&view=article&id=2006:hearing-on-update-on-toyota-and-nhtsas-response-to-the-problem-of-sudden-unintended-acceleration&catid=133:subcommittee-on-oversight-and-investigations&Itemid=73)>